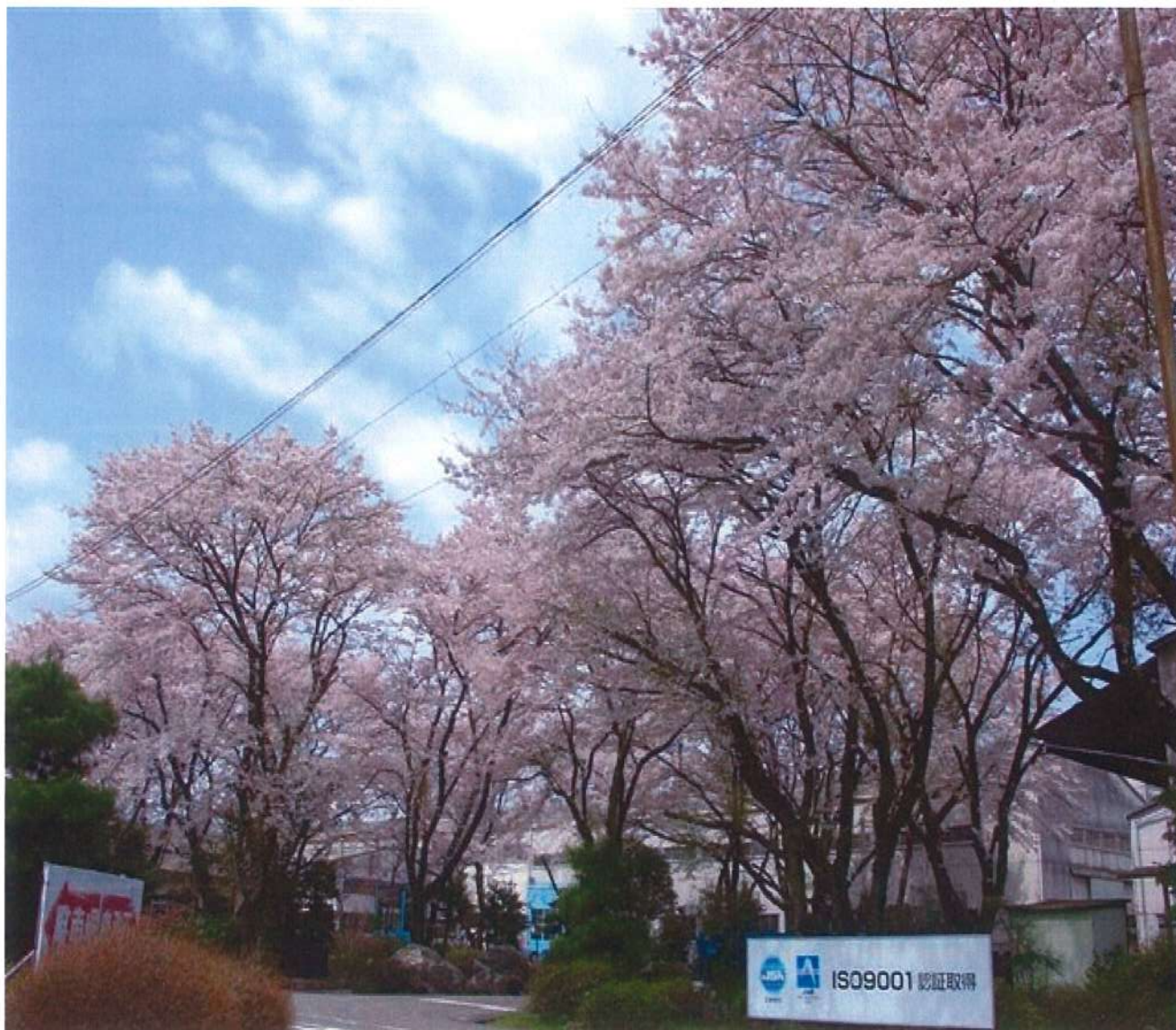


# 2024年版 ・ 環境経営レポート

(2024年1月～12月)



2025年 4月30日 作成

株式会社関根製作所

## 【1】環境方針

### 株式会社関根製作所

#### 環境方針

##### 《基本理念》

株式会社関根製作所は、

環境マネジメントシステムを確立し、事業活動が地域社会の環境に及ぼす影響を常に考え、豊で住みよい環境の実現のため行動します。

##### 《基本方針》

当社が行う事業活動が環境に与える負荷を考慮し、全社員の協力をもって、以下の環境保全活動を推進する。

1. 事業活動の全ての領域で、省資源、省エネルギー、公害防止に配慮した活動を行う。
2. 関連する環境の法規制、使用資源及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
3. 地球温暖化防止と環境汚染予防の重要性を認識し、特に次の環境目標に取り組むと共に、必要があれば見直すなどの継続的改善を行う。
  - ①省資源、省エネルギーの推進など環境負荷の低減に努めます
  - ②環境に配慮し資源のリサイクル及び適正処理を考慮した生産に取り組めます
  - ③グリーン調達に配慮し、リサイクルを推進し環境負荷の低減に努めます
4. この方針を達成するために環境教育の実施、社内広報活動の実施などにより従業員の環境保全活動に関する意識を高める。

2025年2月10日

株式会社関根製作所

代表取締役 関根 俊宗

## 2025年度目標

1. 「溶接ヒューム」が特定化学物質に指定されたことから、これら法規制に的確に対応するとともに、対応策を積極的に推進する。
2. 廃棄物を出さない購買・生産活動を実施することで環境負荷を削減し、環境に優しい生産体制を創ります。

## 【2】事業概要

### 1. 会社概要

社名	： 株式会社関根製作所	
創業	業	： 昭和 8年 2月
所在地	地	： 本社・本社工場 〒322-0006 栃木県鹿沼市富岡 1322番地
		： 武子団地工場 〒322-0007 栃木県鹿沼市武子字田中台1088-16
E A 2 1 対象所在地	地	： 本社・本社工場 〒322-0006 栃木県鹿沼市富岡 1322番地
		： 武子団地工場 〒322-0007 栃木県鹿沼市武子字田中台1088-16
代表者	： 代表取締役 関根 俊宗	
資本金	： 1200万円	
従業員数	： 24名	
地域指定	： 市街化調整区域	
敷地面積	： 19,879 m <sup>2</sup> (本社・本社工場)	
	： 1,236 m <sup>2</sup> (武子団地工場)	
管理責任者	： 関 義弘 (総務課長)	
連絡先	： 0289-62-7365	
F A X	： 0289-62-2050	
メールアドレス	： <a href="mailto:seisaku@sekine-ss.com">seisaku@sekine-ss.com</a>	



#### 1-1. 認証・登録範囲

認証登録範囲は、「全組織、全事業活動」です。

対象組織：本社・本社工場、武子団地工場

事業活動：輸送機器部品・航空支援機材・建築用鉄骨の製造  
航空機部品製作用治具の設計及び製造

## 2. 沿革

- 1933年 (昭和 8年 2月) : 鹿沼市文化橋町に関根鉄工所として創業する。
- 1957年 (昭和32年 3月) : 富士重工業(株)宇都宮製作所の協力工場となり、車輛工場より部品の受注を得る。
- 1958年 (昭和33年10月) : プレス部門を新設し、村田発條(株)の協力工場として、板バネの生産を開始する。
- 1961年 (昭和36年 5月) : 鹿沼市上野町に工場用地を取得、板金溶接部門・機械加工部門を移転する。
- 1963年 (昭和38年 5月) : 富士重工業(株)宇都宮製作所航空機工場より部品の受注を得る。
- 1964年 (昭和39年 5月) : 建設業の栃木県知事登録を申請し認可を得る。  
〈栃木県知事登録番号(又)1779号〉
- 1967年 (昭和42年 5月) : 鹿沼市白桑田(鹿沼鉄工団地内)に工場用地を取得し、工場及び事務所を設置する。
- 1969年 (昭和44年 8月) : 鹿沼市富岡に 約 19,800 m<sup>2</sup> の工場用地を取得し、新工場を建設。  
同年11月、移転完了、落成式を挙げる。

1970年（昭和45年11月）： 富士重工業(株)航空機工場の支援により防衛庁の認定工場となる。

1981年（昭和56年 4月）： 建設省告示 第1103号 に基づく構造物製作工場に認定される。

1988年（昭和63年 4月）： 農産物の人口栽培施設の受注を目的とした試験プラントを建設。  
「舞茸」の人口栽培を開始。 同年8月、製品の出荷を開始する。

1989年（平成 1年 8月）： きのご製造部門を分離し、新会社として「有限会社富岡きのご園」  
を設立する。

1991年（平成 3年12月）： 「株式会社関根製作所」に組織変更する。

1996年（平成 8年10月）： 武子工業団地に工場用地を取得し、「精密組立工場」を建設、竣工  
する。

1997年（平成 9年 4月）： 3次元CAD/CAM、CATIA-V4 による設計を開始する。

2001年（平成13年 5月）： 新会社「(株)エム・エス・テー」を設立。

板バネ製造部門を独立会社とし、製造基盤を強化する。

2003年（平成15年 9月）： 「特定労働者派遣事業」認可取得。〈許可番号 特09-02-0002〉  
3次元CAD/CAM CATIA を主とする設計事業を強化、拡大する。

2006年（平成18年 3月）： 3次元CAD/CAM CATIA-V5 による設計を開始する。

2007年（平成19年 9月）： JIS Q 9001:2000, ISO9001:2000 を取得する。  
登録番号 JSAQ 2424

2009年（平成21年10月）： エコアクション21を取得する。

認証・登録番号 0004223

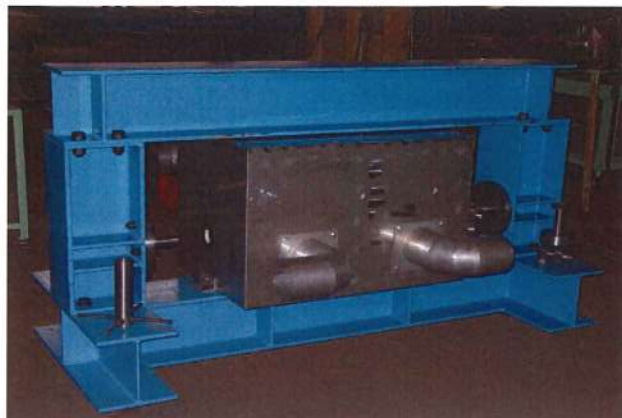
2018年（平成30年12月）： 一般労働者派遣事業の認可へ移行。

〈許可番号 派09-300389〉



### 3. 事業形態

- (1) 事業年度 : 8月 ~ 7月
- (2) 環境活動年度 : 1月 ~ 12月
- (3) 年間稼働日数 : 258日
- (4) 就業形態 : 1シフト
- (5) 就業時間 : 8:00 ~ 16:55



### 4. 製品概要

#### 航空部門

航空機製作用各種治具の製作、精密組立

[ 組立治具、接着治具 他の 溶接、機械加工、組立 ]

航空支援機材の製作、組立

試験研究機材の製作、組立

#### 板金部門

輸送機器部品の製造組立

産業機械 / 工作機械部品の製造、組立

住宅・ハウス製品の製造

#### プレス部門

自動車用金属プレス部品の製造

## 5. 敷地概要

※都市計画法での用途地域指定：市街化調整区域

※栃木県生活環境の保全等に関する条例での地域指定

○ 騒音：その他の地域

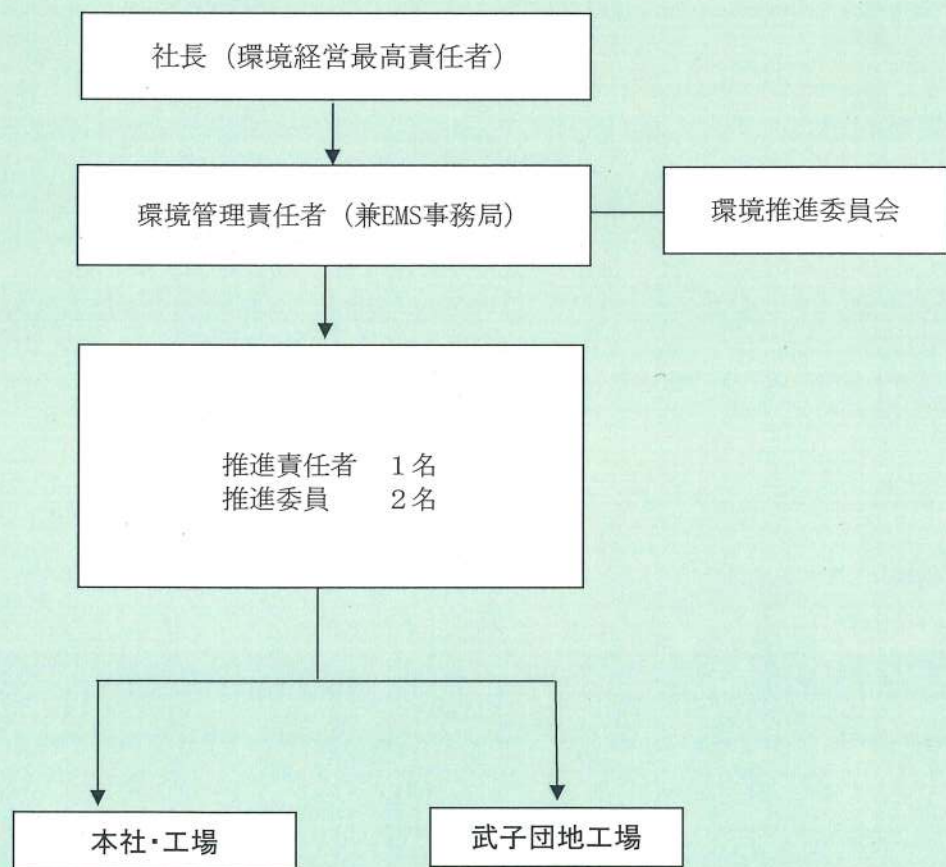
○ 振動：その他の地域



## 6. エコアクション21実施体制の構築

社長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。

EA21組織図



### 【3-1】環境目標(中期)と実績

環境活動期間：2024年1月～12月

環境目標項目	単位	対象 サイト		基準年度	環境目標値 / 実績			
				2020～2022年度平均	2023年度	2024年度	2025年度	
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)	t-CO2		目標率	-	-1%	-2%	-3%	
			本社 本社工場	目標値	-	168.47	166.77	165.06
				実績値	170.17	142.41	136.79	-
			武子団地 工場	目標値	-	3.47	3.43	3.40
				実績値	3.50	3.57	3.60	-
			合計	目標値	-	171.94	170.20	168.46
実績値	173.67	145.98		140.39	-			
電力使用量の削減	kWh/千円	本社 本社工場	目標値	-	1.053	1.043	1.032	
			実績値	1.064	1.071	0.703	-	
	kWh	武子団地 工場	目標値	-	7,611	7,534	7,457	
			実績値	7,688	7,900	7,969	-	
車両燃料の削減(ガソリン)	L/百万円	本社 本社工場	目標値	-	17.20	17.02	16.85	
			実績値	17.37	15.62	10.57	-	
車両燃料の削減(軽油)	L/百万円	本社 本社工場	目標値	-	12.03	11.91	11.79	
			実績値	12.15	10.21	7.15	-	
廃棄物排出量削減 リサイクル推進			目標率	-	-1%	-2%	-3%	
コピー用紙の削減	枚/百万円	本社 本社工場	目標値	-	124.03	122.77	121.52	
			実績値	125.28	148.17	88.62	-	
単純焼却ゴミの削減	kg/百万円	本社 本社工場	目標値	-	10.02	9.92	9.82	
			実績値	10.12	9.88	10.13	-	
排水量削減 (節水)			目標率	-	-	-	-	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	本社 本社工場	目標値	-	-	-	-	
			実績値	11.126	10.030	9.96	-	
			目標率	-	-	-	-	
環境保全活動	回数	本社 本社工場	目標値	-	12	12	12	
			実績値	12	12	12	-	
金属屑の削減	kg/百万円	本社 本社工場	目標値	-	0.299	0.296	0.293	
			実績値	0.302	0.319	0.193	-	

#### 〈水使用量の削減〉

地下水のため、メーターを設置していないので使用量は不明だが、生活用水のみのため使用量は少ないので、節水の周知徹底を行う。

水使用量(推定値)は、(人員数×稼働日数×2L)で算出する。

#### 〈購入電力の調整後排出係数〉

東京電力株式会社 0.000452 (t-CO2/kWh) ※2023年度～2025年度の期間について使用する。

#### 〈化学物質の管理〉

使用数量が少量の為、購入化学物質一覧表とSDSの入手管理とする。

#### 〈環境目標の原単位〉

環境目標の原単位は、生産高とする。

2024年度の生産高は、基準年度比で123%

### 【3-2】環境実績

環境活動期間：2024年1月～12月

環境目標項目	単位	対象 サイト		環境実績			
				2020～2022年度平均	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 (省エネルギー)	t-CO2	本社 本社工場	実績値	170.17	142.41	136.79	
			前年比	—	-16.3%	-3.9%	
		武子団地 工場	実績値	3.50	3.57	3.60	
			前年比	—	2.0%	0.8%	
		合計	実績値	173.67	145.98	140.39	
			前年比	—	-15.9%	-3.8%	
電力使用量	kWh	本社 本社工場	実績値	273,410	238,592	221,962	
			前年比	—	-12.7%	-7.0%	
	kWh	武子団地 工場	実績値	7,688	7,900	7,969	
			前年比	—	2.8%	0.9%	
車両燃料の削減(ガソリン)	L	本社 本社工場	実績値	4,470.10	3,478.10	3,339.50	
			前年比	—	-22.2%	-4.0%	
車両燃料の削減(軽油)	L	本社 本社工場	実績値	3,117.00	2,275.00	2,260.00	
			前年比	—	-27.0%	-0.7%	
廃棄物排出量削減 リサイクル推進							
コピー用紙の削減	枚	本社 本社工場	実績値	32,167	33,000	28,000	
			前年比	—	2.6%	-15.2%	
単純焼却ゴミの削減	kg	本社 本社工場	実績値	260.00	220.00	320.00	
			前年比	—	-15.4%	45.5%	
排水量削減 (節水)							
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	本社 本社工場	実績値	14.695	10.030	9.958	
			前年比	—	-31.7%	-0.7%	
環境保全活動							
環境保全活動	回数	本社 本社工場	実績値	12	12	12	
			前年比	—	0.0%	0.0%	
金属屑の削減	kg	本社 本社工場	実績値	77,863	70,950	60,880	
			前年比	—	-8.9%	-14.2%	

〈購入電力の排出係数〉

東京電力株式会社 0.000452 (t-CO2/kWh)

## 【4】主要な環境活動計画の内容

事業活動における環境への負荷を低減するために、従業員一同が取り組んでいる主要な環境活動内容は以下の通りです。

### 1. 活動内容

環境活動期間：2024年1月～12月

環境活動計画項目	対象サイト	対象サイト	推進担当者	実行責任者	活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)					
電力使用量の削減		本社・工場 及び 武子団地 工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していないパソコン等の電源OFFの徹底</li> <li>・昼間は太陽光を利用し必要時のみの点灯</li> <li>・休憩時間等不必要時の消灯の徹底</li> <li>・事務所でエアコン廃止(扇風機への切替)</li> <li>・デマンド装置での使用電力量の監視</li> <li>・作業工程の効率化</li> <li>・照明器具のLED化</li> </ul>
車両燃料の削減		本社・工場	各部署 全員	製造部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両使用(運行ルート)の効率化 (異なる顧客への納品であっても運行方向が 同じ場合一括配送するよう調整し実行する)</li> <li>・エコドライブの実施</li> </ul>
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)					
コピー用紙の削減		本社・工場	事務所 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙使用の徹底</li> <li>・社内書類の簡素化と配布先管理</li> <li>・書類の電子化と社内メールの活用</li> <li>・社外からの電子文書のプリントアウト削減</li> </ul>
単純焼却ゴミの削減		本社・工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> <li>・梱包材(ダンボール等)の再使用</li> <li>・弊社納入時の梱包・包装材の簡素化</li> </ul>
排水量削減(節水)					
水使用量の削減		本社・工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の周知徹底</li> <li>・節水の表示</li> </ul>
自社テーマ					
環境保全活動		本社・工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内教育の実施</li> <li>・環境パトロールの実施</li> </ul>
グリーン購入		本社・工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮製品の情報を収集し、同等品等 使用可能な製品については出来るだけ購入 を薦める</li> </ul>
生産・サービスに関する環 境配慮		本社・工場	各部署 全員	環境管 理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板材の歩留まりを改善し金属くずとしての 排出を削減する</li> </ul>

## 【5】環境活動の取組結果と評価

環境活動期間：2024年1月～12月

環境目標項目	目標値	対象		取組結果	評価(結果と今後の方向)	
取組項目・評価	単位	サイト				
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)	基準年度比-1%	本社・工場	目標	166.77	◎	本社・工場については目標を達成することが出来た。武子団地工場についても概ね目標を達成することが出来た。今後も電力・車輛燃料の使用量削減に重点を置き、Co2排出量を削減するよう取り組んで行く。
	t-CO2		実績	136.79		
			達成率	121.9%		
	基準年度比-1%	武子団地 工場	目標	3.43	○	
	t-CO2		実績	3.60		
			達成率	95.3%		
	基準年度比-1%	合計	目標	170.20	◎	
	t-CO2		実績	140.39		
			達成率	121.2%		
電力使用量の削減	基準年度比-1%	本社・工場	目標	1.043	◎	使用量を削減し概ね目標を達成することが出来た。来期以降生産が増加する見込みなので、更なる省エネ活動を行い目標を達成出来るよう電力使用量等の削減に取り組む。
	kWh/千円		実績	0.703		
			達成率	148.4%		
	基準年度比-1%	武子団地 工場	目標	7,534	○	
	kWh		実績	7,969		
			達成率	94.5%		
車輛燃料の削減(ガソリン)	基準年度比-1%	本社・工場	目標	17.02	◎	目標を達成する事が出来た。今後もエコドライブ等を徹底し、効率の良い移動を心がけ、さらなる削減に取り組んでいく。
	L/百万円		実績	10.57		
			達成率	161.0%		
車輛燃料の削減(軽油)	基準年度比-1%	本社・工場	目標	11.91	◎	目標を達成する事が出来た。今後も運搬の削減に取組、社有車を有効に活用すると共に、エコドライブ等を徹底し削減に取り組んでいく。
	L/百万円		実績	7.15		
			達成率	166.6%		
廃棄物排出量削減 リサイクル推進				取組結果	評価(結果と今後の方向)	
コピー用紙の削減	基準年度比-1%	本社・工場	目標	122.77	◎	目標を達成することが出来た。使用量も前年度と比較し大幅に減少している。今後も生産に直接関係のない管理資料等の電子化を徹底していく。
	枚/百万円		実績	88.62		
			達成率	138.5%		
単純焼却ゴミの削減	基準年度比-1%	本社・工場	目標	9.92	○	今期は段ボール以外の梱包材の排出量が増えたことで目標を達成できなかった。今後は段ボール以外の梱包材の分別を進めリサイクル出来るように徹底しゴミ排出量の削減に努める。
	kg/百万円		実績	10.13		
			達成率	97.9%		
排水量削減 (節水)				取組結果	評価(結果と今後の方向)	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	本社・工場	目標	—	◎	生活用水のみのため、節水の表示等で周知徹底し節水に努めた。今後も節水活動を継続する。
			実績	9.958		
			達成率	—		
自社テーマ				取組結果	評価(結果と今後の方向)	
環境保全活動	回数	本社・工場	目標	12	◎	社内教育(朝礼)や、環境パトロールの実施により、環境に対する意識が向上した。
			実績	12		
			達成率	100.0%		
グリーン購入		本社・工場	目標	—	○	エコマーク認定製品や、再生紙使用製品の情報を収集し転換を促進した。今後は環境に配慮した製品の購入を進める。
			実績	—		
			達成率	—		
生産・サービスに関する 環境配慮	kg/百万円	本社・工場	目標	0.296	◎	目標を達成することは出来た。排出量も前期比で-14%以上削減できている。今後も歩留まりの改善に取組削減に努める。
			実績	0.193		
			達成率	153.4%		

※達成率 100%以上 ◎  
 90%～100% ○  
 80%～90% △ (経過観察)  
 80%以下 × (是正)

## 【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1. 適用となる主な環境関連法規

環境活動期間：2024年1月～12月

法規等の名称	対象サイト	要求事項
騒音規制法(栃木県生活環境保全条例)	本社・工場	特定施設からの騒音に関する規制基準の遵守及び施設の届出 (その他の地域:市街化調整区域)
振動規制法(栃木県生活環境保全条例)	本社・工場	特定施設からの振動に関する規制基準の遵守及び施設の届出 (その他の地域:市街化調整区域)
廃棄物処理及び清掃に関する法律	本社・工場	・産業廃棄物分別保管の遵守 ・産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守 ・産業廃棄物管理票による管理 (マニフェストの発行) (マニフェストの返却確認・記録) (マニフェストの5年間保管) ・野焼き等事業所内での焼却禁止
鹿沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び鹿沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則	本社・工場	・市が定める産業廃棄物と事業系一般廃棄物の分別、適切な処理
浄化槽法	武子団地 工場	・年1回の定期検査の受検 ・浄化槽の清掃及び3ヶ月毎の保守点検
電気事業法	本社・工場 武子団地 工場	・年1回の定期検査の受検 ・月次検査の受検及び点検
フロン排出抑制法	本社・工場	・簡易点検の実施

### 2. 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反は過去3年間ありませんでした。

関係当局からの指摘及び利用関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

## 【7】代表者による全体評価と見直し結果

新型コロナウイルス等で落ち込んでいた生産状況が増加した中、電力・車輛燃料等の使用量を増やすことなく生産活動が出来、電力、車輛燃料による二酸化炭素排出量の削減について目標達成することが出来るなど環境活動が計画通り進んでいると評価できる。引き続き環境保全に対する意識を高めるための啓蒙活動を積極的に進め、全社員協力のもと、電力、車輛燃料による二酸化炭素排出量の削減、単純焼却物の削減等で目標が達成できるように、環境に配慮した活動に努める。